

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・第3世代携帯電話の需要が徐々に増している。6月からの通信料定額制サービス開始により、更に拍車がかかると見込んでいる。
	やや良くなる	百貨店（売場主任）	・今後紳士服、洋品については、父の日セールもあり、それなりの企画内容、戦略を考えている。3か月気象情報によると、今年の夏は非常に暑いということであり、商品の動きが活発になる。
		スーパー（経営者）	・冷夏であった前年に比べれば今年は暑くなるので、季節商品の販売が伸びる。
		スーパー（店長）	・今年は梅雨入りも早く、暑い夏になるとの予報が出ている。冷夏で夏物商材が不振であった前年からすると、比べ物にならないほど夏物が売れるため、売上、利益とも良くなる。
		スーパー（総務担当）	・客の動向は食料品を中心にかなり良く、特に飲料、乳製品関係がかなり良くなっている。天候にもよるが、一時期に比べると衣料品なども若干上向いており、来月にかけてのバーゲンに期待している。
		コンビニ（経営者）	・これからビール、つまみ、氷、花火など夏型の商品が動くので、少しは良くなる。
		コンビニ（経営者）	・冷夏であった昨年は、前年比でかなり落ち込んだが、今年は猛暑になり良くなると期待している。7月の夏祭りでは当番町会に当たっており、店舗前の道路等で多数イベントが予定されているため、これを最大限利用して数字を上げたい。
		コンビニ（店長）	・夏休みを控え、合宿や修学旅行、観光客の増加等、外からの入込が期待できる。単品の集中販売も軌道に乗り始めているので、やや良くなる。
		衣料品専門店（店長）	・中心部の大型ショッピングセンターの閉店により、今まで飽和状態であった同業店が少なくなるので、客を取り込める。
		衣料品専門店（統括）	・5月中旬から祭り用品の問い合わせが増加してきている。夏から秋にかけて各地で祭りがあるので、多少期待できる。
		家電量販店（店長）	・オリンピックを控え、デジタル家電が注目されており、全体的な購買意欲は強まりつつある。今後この動きは更に強まると見込んでいる。
		住関連専門店（店長）	・総額表示の影響が少しずつ薄れてきているので、今後買上点数の回復が見込まれる。
		通信会社（営業担当）	・オリンピックによるデジタルテレビ需要で、量販店に活気が出て、さらに、それに付随する関連商品の販売も伸びると見込んでいる。
変わらない	商店街（代表者）	・駅前通りの約180mに約30店舗が集まる商店街であるが、昨年6月に中心にあったパチンコ店が撤退してから、200坪が空き店舗となっている。ファーストフード店も撤退し、現在では4店舗が空家のままで、一向に入店の話がない。先が良くなるとは思えない。	
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・人出を期待して、町中でイベントを開催しているが、客は広い駐車場のある郊外店に向かってしまう。客が安い物を求めており、今後もそれは変わらない。	
	スーパー（統括）	・総額表示に対する慣れは出てくるが、価格に対する不信感のすべては払拭できない。消費者の買物姿勢が元に戻ることで、上昇への期待は持てるが、同時に価格競争の更なる激化が予測され、来客数、点数の増加はあるものの、単価下落で横ばい状態が続く。	
	乗用車販売店（従業員）	・客の慎重さは相変わらずであり、来客数、販売台数、売上高とも回復は期待できない。	
	乗用車販売店（営業担当）	・必要に迫られて購入する乗用車も、できるだけ安く購入しようとするユーザが非常に目立つような状況なので、変わらない。	
	乗用車販売店（販売担当）	・今までは周辺地域のみに出していた広告、宣伝を広範囲に出すようになってから、中古車関係の売行きが著しく伸びているが、周辺地域の観光地は相変わらずあまり良くないので、総じて変わらない。	
	一般レストラン（業務担当）	・6～7月の納涼会の宴会予約が昨年ほど入っていない。これからの営業活動でカバーしていくが、今年は会社や職場単位での納涼会はしないという客が何件かある。	

	都市型ホテル（スタッフ）	・企業関連の大きな集会、会議等が少なく、内需拡大にはつなげられていない。	
	旅行代理店（経営者）	・県の公共事業が一気に減額となっているため、建設、建築業関連では、事業内容を転換したり、新規事業を興す動きが出ているが、今の景気の中ではなかなか厳しい。スキー場などの観光事業も、若者は携帯や自動車など他のことでお金を使ってしまい、スキーに来る客は少なくなっており、大変厳しい状況である。3か月先もまだ変わらない。	
	旅行代理店（従業員）	・夏休みの家族旅行の予約が入る時期だが、年々動きが遅くなっている。	
	旅行代理店（営業担当）	・地域的に農家の収入が増加しない限り、良くならない。農産物出荷額が10%程度上昇した時に、初めて明るさがみえてくる。	
	タクシー（経営者）	・特に目新しい行事の予定もないので、今後も変わらない。	
	ゴルフ場（支配人）	・来場者の7割以上が地元客なので、地場産業、建設業、金融関係が元気にならないことには、来場者数の安定した伸びはない。	
	ゴルフ場（副支配人）	・3か月先までの予約、コンペ等の引き合いが前年に比べて若干多くなっている。単価は前年比約5%減となっているものの、この数年間の合理化により、経費が順調に圧縮されているので、利益はやや良くなるか横ばいという見通しである。	
	設計事務所（所長）	・相変わらず良くなる兆しがない。先々月、先月からみると、話だけ少し出始めているが、実現するかどうかは半年程度先になるので、しばらくは変わらない。	
	住宅販売会社（経営者）	・良くなる要因は何もなく、悪くなることはあっても、良くはない。	
やや悪くなる	スーパー（経営者）	・今まで閉鎖していた大型店が6月にリニューアルオープンするため、商戦は大変厳しくなる。今まで以上の競合となるため、利益確保が更に厳しくなる。	
	スーパー（経営企画担当）	・7月に競合店が新たに出店するので、2店舗ほどその影響を受けてやや悪くなる。	
	コンビニ（店長）	・近隣の大型店が数か月以内に撤退するため、地域的に集客力が低下する。	
	高級レストラン（店長）	・中心街の空洞化に歯止めがかからず、空き店舗が増え続けている。客の話によると、支店や営業所を閉鎖して、東京からの出張で対応する企業が増加している。	
	観光型ホテル（スタッフ）	・例年に比べ、宴会の予約が少ないので、今後はやや悪くなる。	
	その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・長い付き合いの客でも、その子供は、親は親、自分は自分という世代であり、突発的事故等の時には来て欲しいというが、その他の整備は他店で済ましている。義理と人情が通用しない世の中になっている。	
	住宅販売会社（経営者）	・大規模スーパー出店の影響で、旧商店街ではシャッターを閉める店が増加している。このような状況なので厳しい。	
悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・都心、大企業の景気が良くなっても、地方はそこまで良くはない。何一つ景気が良くなるようなことはなく、全体的に悪い状況である。	
	コンビニ（店長）	・スーパーではいろいろ購入しても、コンビニでは客が目的外の商品をほとんど購入しないことや、夜間の来客数が減少しているため、販売量が徐々に減少してきている。	
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・自動車業界は例年3月がピークで、4月が減少、その後徐々に上昇する傾向だが、今年は6～7月が3月より受注量が多く、9月が一番のピークになる見込みである。
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・半導体に関しては台湾、韓国が非常に良い。この分野の受注は順調に入ってきてきそうである。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	・四輪駆動関連部品も例年より早めに増産の注文が入ってきており、油圧機器関連部品も微増傾向にある。
		輸送業（営業担当）	・今後は扇風機、エアコンなどの季節商品が動き出し、ある程度の輸送量は確保できる。
		金融業（調査担当）	・県内における設備投資の好調、有効求人倍率の上昇に加え、製造業の受注見通しがおう盛である。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・新しい仕事が7～8月から始まり、その分売上が増えるので、やや良くなるが、既存の取引先の業況などを含めると、全般的には2～3か月先も前年並みで変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・全般に仕事は忙しくなっているが、下請業はコスト削減を強いられるなど、厳しい状況が続いており、良くなる実感はない。

		輸送用機械器具製造業（経営者）	・現在、受注量、販売量の動きが良く、同業者、取引先とも大変忙しい状況なので、これ以上忙しくはならない。
		建設業（経営者）	・受注が増えない上に、資材の値上がり等の影響が大きく、採算が悪化する。
		金融業（経営企画担当）	・取引先製造業の受注は増加しているようであるが、原材料が高騰しており、今後は原油高の影響も出てくるので厳しい状況が続く。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・今後とも、上向きの状態が続く。原料や素材の単価上昇が著しく、収益を圧迫しているため、更に価格高騰が進むと、投資は冷え込む。
	やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・原料不作による高騰が製品の原価に直接的に影響を及ぼしている。追い討ちをかけるようにポリプロピレンの包装資材も値上げとなったが、自社製品の原価値上げはいまだにできず、非常に厳しい。
		輸送業（経営者）	・全体の輸送量は変わらないが、規制による設備（排ガス規制や速度抑止装置）増や軽油、タイヤの値上げにより今までよりも経費が増えるため、やや悪くなる。
		不動産業（管理担当）	・入居打診の話も少なく、築年数経過（約15年）による補修箇所が増加、原油価格の高騰が工事費に及ぼす影響も考えられるので、収入よりも支出が増える。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・企業が広告費を本社に集中させる傾向が強くなり、地方都市での広告業は一層厳しくなっている。年間契約のコマーシャルの落ち込みをスポットコマーシャルで埋めきれず、じり貧状況である。
	悪くなる	建設業（総務担当）	・公共事業の削減により、受注残高が前年比51%と半減状態である。5月から全社員1割の給与カットを実施している状況である。
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・観光関連の内需がこのところ上向いているからか、ブームを見込んで先手を打つべく、鉄道関連や観光協会など観光関連の業界が行う、観光客の意識や動向のアンケート調査への派遣要請が目立っている。 ・老人介護施設からの介護スタッフ要請も出ているが、夜勤や早番などの交代勤務で労働条件の割に料金が低いことが多く、老人介護に意識の高い人材でないとマッチングは難しい。
		民間職業紹介機関（経営者）	・この数か月は上昇傾向が続く。残業も増えており、夏の賞与に向けて個人消費も上向くのでやや良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・景気が回復していると一部報道にあるが、地方の企業からすると肌で感じるほどではない。明るい兆しはなく、しばらくは変わらない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・現在が非常に順調であるため、このまま変わらない。求人広告は広い意味のサービス業が中心であったが、付近の製造業からの広告も出始めている。ここ数年になく、順調である。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・業種によっては回復の兆しがみられるが、全般をみるとまだ厳しい状況であり、小売店などは閉店、廃業するところもあり、先行きはまだまだ不透明である。
		職業安定所（職員）	・大量変動等の情報はないので、新規求人、求職は一定の水準で推移する。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率が6か月連続で1倍を超えているが、有効求職者数も5か月連続で増加している。新規求人に占める、アルバイト、契約社員などの非正規雇用の割合は2割を超えている。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・来年3月卒業者向けの合同就職面接会における参加企業は73社とほぼ前年並みである。求人内容は開発、設計、情報関係など専門的知識を要するものが根強い。多くの学生が希望する事務、販売関係は慎重さがうかがえる。
		学校〔大学〕（総務担当）	・中央では雇用環境が回復していると発表されているが、当地域ではまだはっきりとした動きはない。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-